

事業概要シート

施策	1601	観光交流のまちづくり	≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	観光交流拠点振興事業	拡充	予算額 17,026 千円 ≪ 17,919 ≫千円
事業期間	平成27 ~	財源内訳	国庫支出金 260 千円 県支出金 0 千円 地方債 0 千円 その他 346 千円 一般財源 16,420 千円
根拠法令要綱等	大村市道の駅条例 大村市道の駅条例施行規則		

【事業の目的・概要・対象】

【事業の目的】

道の駅「長崎街道鈴田峠」は、シュガーロードとも呼ばれた長崎街道を活動軸とし、観光、歴史、特産品、スイーツなど、大村市の様々な魅力を提供することで、地域内外から活力を呼び込み、地域産業全体の振興を図る拠点として整備され、運営されている。

今回の事業拡充は、飲食スペース（地域交流施設）の改修を行うことで道の駅の魅力向上を図り、来場者数の増加および新規運業者の参入促進を図る。また、改修後は指定管理者制度の導入を目標とし、よりよいサービス向上を図る。

【概要】

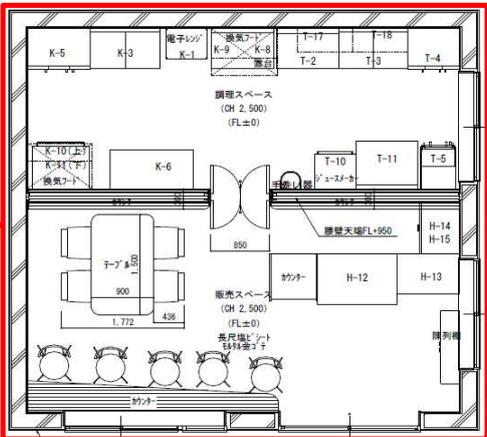
令和6年度に改修設計を行い、令和7年度に改修工事を実施

改修内容と効果

- ・調理スペースおよび菓子製造スペースの仕切りの撤廃
- ・オープンキッチンや設備等の更新
(効率的な運営、スタッフの負担軽減、質の高いサービス提供、清潔感や透明性の向上)
- ・販売スペースの拡大
(顧客満足度の向上)

【対象】

利用者、事業者

<p>事業内容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 大村市 改修事業 【改修(拡充)】 ・改修設計(R6年) ・改修工事(R7年) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 運営事業 【通年業務(継続)】 ・情報発信スペース運営 ・飲食スペース運営 ・イベント開催 ・清掃及び管理 ほか </div>	<p>道の駅概要</p>  <p>情報発信スペース 飲食スペース</p>	<p>改修内容</p> 
---	---	---

【背景】

道の駅は平成28年3月に開設したが、道の駅および隣接民間施設の来場者数は現在まで減少傾向にある。また、飲食スペースの売り上げは近年回復傾向にあるものの、コロナ禍の水準に回復していない。また、道の駅の運営委託業者をプロポーザルにより選定しているものの、平成31年からは1社のみの応募で新規参入無しの状況が続いている。

そこで道の駅の施設の中で、集客力が期待できる飲食スペースに着目し、利用者および事業者に向けて、道の駅の魅力向上のための改修工事を検討した。

担当課	産業振興部観光振興課	課長	富永 彰
担当者	西 圭次郎	問合せ先	0957-53-4111 (内線242)

事業概要シート

【活動指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	イベント開催回数	計画値	回	10	12	12	12	12
②		計画値						

【成果指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	道の駅利用者数	計画値	人	139,678	249,200	249,200	249,200	249,200
②		計画値						

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費	14,237	13,689	17,919	17,026	13,925	13,925	90,721
国庫支出金	0	0	0	260	0	0	260
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	517	289	525	346	525	525	2,727
一般財源	13,720	13,400	17,394	16,420	13,400	13,400	87,734
人件費	3,419	4,785	4,598	4,785	4,785	4,785	27,156
職員(人)	0.26人	0.39人	0.39人	0.39人	0.39人	0.39人	2.21人
時間外勤務(h)	24h	49.3h	67.0h	49.3h	49.3h	49.3h	288h
会計年度任用職員(人)	0.80人	1.00人	0.88人	1.00人	1.00人	1.00人	5.68人
フルコスト	17,656	18,474	22,517	21,811	18,710	18,710	117,877

妥当性 (市の関与)	市の施設である道の駅の飲食スペースの改修工事の施工は、市による関与が妥当である。
有効性 (施策貢献度)	飲食スペースの改修工事による道の駅の魅力向上により、利用者の増加が期待できることから、施策貢献度は高いと言える。
効率性 (コスト)	改修工事には一時的なコストはかかるものの、道の駅の魅力向上により、改修後の来場者数の増加や運営業者の参入競争の促進効果が期待できることから、費用対効果は高い。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	一次評価者のとおり